

視察・研修報告書

視察・研修先	北海道登別市
日 時	令和 5 年 8 月 7 日
場 所	登別市役所
テーマ	開かれた議会を目指して、議会改革
対応者 (講師)	登別市議会 辻ひろし議長
概 要	<p>登別市は、人口 44,697 人（令和 5 年 7 月時点）、令和 2 年に市制施行 50 周年を迎えた。海、山、川そして温泉と自然に恵まれて、年間 400 万人の観光客が訪れる全国有数の観光地である。昭和 62 年に国際観光レクリエーション宣言、平成 10 年に平和都市宣言をしている。</p> <p>交通の利便性や良好な居住環境を生かして企業誘致活動や、農業、水産業の振興など、幅広い産業構造の形成に努め、道内の中堅都市として発展を続けている。</p> <p>議会としては、観光を娯楽ではなく産業として考え、登別市議会の視察の際は、登別温泉に宿泊することを条件としている。</p> <p>地方議員の任期は 4 年であるが、「人」が変わっても、継続的・論理的に議会活動を保証する仕組みづくりとして、「開かれた議会」を目指し、さらに若手や政治未経験者、女性など幅広い議員が活動できる「多様性のある議会の実現」のための議会改革を推進している。早稲田大学マニフエスト研究所の「議会改革度調査 2022」で登別市が全国 1 位に選ばれた。</p> <p>議会改革の始まりは IT 化推進から始まっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 12 年度 「IT 推進に関する特別委員会」設置 ・平成 13 年度 会派に 1 台パソコン設置、ホームページ開設 ・平成 14 年度 例規集 CD 化、議員へパソコン貸与、議場に、パソコン持ち込み可能、メールアドレス取得 ・平成 18 年度 議会改革推進委員会設置（全議員参画・小委員会制） ・平成 19 年度（改選期）第 1 回フォーラム開催、委員会活動計画書、委員会意見交換会開始 ・平成 21 年度 議会中継開始（本会議と各委員会）テレビモニターによる資料掲示 ・平成 23 年度 議会基本条例制定 ・平成 24 年度 市民による議会サポーター制度開始 無償ボランティアサポーター、有償の専門サポーターによる意見交換会開催 ・平成 31 年度 議会 HP リニューアル（クラウド型・Google 併用） 議場への障がい者傍聴席設置 ・令和 2 年度 脱ハンコを機に完全ペーパーレス化 グループウェア（サイボウズ

office) 導入

- ・令和3年度 議長選挙時「演説」と「所信表明」に基づき議会運営委員会への質問事項として提案
- ・令和4年度～ オンライン委員会開始
コロナ禍をきっかけに、コロナ禍に限らず、様々な議員参画を支える仕組みとしてオンライン委員会を実施。

所 感

登別市議会は、平成12年という早い時期から特別委員会を設置し、IT化推進に向けて調査研究を継続し、試行錯誤しながら積極的に新しい試みに挑戦している実績が、早稲田大学マニフェスト研究所の「議会改革度調査2022」で全国1位に選ばれるという評価へとつながっていると感じた。

すでに子育て中の女性議員が、自宅からオンラインで委員会に参加できるシステムがあり、今後は議会図書館にベビーサークルや乳幼児図書を設置して、議会図書館から中継画面を見ながらの議会参加の実施を考えているとの事で、多用性のある議会の実現に向かって確実に進んでいる。

また、議長選出は、実質的な立候補による選挙制度で、中継による所信表明（マニフェストの提示）、「議長諮問」によるマニフェストの実現と、市民にとっての開かれた議会が実現している。今回講師として対応していただいた42歳の辻議長は改選後も2期目の議長として再選され、さらに力強く議会改革の舵取りをしようとしている。

「ICTは道具であり、使うことが目的ではない。道具として効率性を高めることを目指す」との考えに同感する。

本市においてIT化による議会改革を進めるにあたって、学ぶところが多い登別市視察であった。

-作成者 平田不二香 -

視察・研修報告書

視察・研修先	北海道 石狩市														
日 時	令和5年8月8日														
場 所	石狩市役所														
テーマ	ICT化によるペーパーレス化と業務効率化														
対応者 (講師)	石狩市議会事務局														
概 要															
<p>1. ペーパーレス化を進める</p> <p>平成27年より「議会改革推進特別委員会」においてタブレット端末の導入検討</p> <p>導入目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議案 資料のペーパーレス化、資料の受け取りに来る労力が軽減される遠隔地（60km）にいる議員もいる、資料の整理がしやすくなる <p>平成27年9月【タブレット端末のデモンストレーションを実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大半の議員は、使いにくい、使えない ・タブレット端末ではなくてパソコンはどうだろうか？ ・パソコンは、画面が大きい、導入費用が安価、タブレットよりは使ったことがある <p>パソコンを導入して、まずは議案、資料のペーパーレス化をスタートしよう</p> <p>平成28年9月から、全議員にノート型パソコンを貸与し、議案等の資料をデーター配布し議場で閲覧</p> <p>平成29年9月から、委員会資料についてもデーター化</p>															
<p>2. パソコン導入効果</p> <p>【ペーパーレス化した書類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政資料 ・議会資料 <p>【パソコン導入費用】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">・パソコン35台（議員20名、事務局、予備）</td> <td style="text-align: right;">175,000円</td> </tr> <tr> <td>・コンセント等の電源改修（議場、委員会室）</td> <td style="text-align: right;">486,000円</td> </tr> <tr> <td>・USBメモリー（議員一人2個）</td> <td style="text-align: right;">66,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">合計727,000円</td> </tr> </table> <p>【ペーパーレス化による削減経費】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">・印刷、製本に係る人件費</td> <td style="text-align: right;">1,380,000円</td> </tr> <tr> <td>・消耗品（主に紙）</td> <td style="text-align: right;">600,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">合計 1,980,000円</td> </tr> </table>		・パソコン35台（議員20名、事務局、予備）	175,000円	・コンセント等の電源改修（議場、委員会室）	486,000円	・USBメモリー（議員一人2個）	66,000円		合計727,000円	・印刷、製本に係る人件費	1,380,000円	・消耗品（主に紙）	600,000円		合計 1,980,000円
・パソコン35台（議員20名、事務局、予備）	175,000円														
・コンセント等の電源改修（議場、委員会室）	486,000円														
・USBメモリー（議員一人2個）	66,000円														
	合計727,000円														
・印刷、製本に係る人件費	1,380,000円														
・消耗品（主に紙）	600,000円														
	合計 1,980,000円														

ペーパーレス化成功。更なる議会の効率化、スリム化へ

3. タブレット端末導入を目指して

「議会の ICT 化」「ペーパーレス化」「業務の効率化」実行する為
タブレット端末導入を、令和2年度当初予算に計上

(タブレット購入、議会会議システム、電子採決、グループウェア)

費用がかかり過ぎて



予算化できず

イニシャル約530万円 ランニング約230万円

令和2年5月 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用紹介あり
委員会をオンライン開催「タブレット端末導入」

令和2年9月定例会 補正予算可決

令和3年4月 全議員にタブレット貸与試行開始

令和3年6月 定例会から本格運用開始

4. タブレット端末導入効果

議会の ICT 化 (令和3年会議規則、委員会条例改正)

令和4年2月常任委員会 一部オンライン開催実施 (1名オンライン開催)

ペーパーレス化

タブレットにデータ送信

業務の効率化

議案、委員会データUSB手渡し→タブレットにデータ送信

所 感

石狩市議会は、どのようにしたら、ICT化が導入できるか、平成27年度から考え、検討し令和3年4月より試行開始し、令和3年6月より本格運用開始となった。

本市の議会も、コスト面など、業務軽減などの観点より、早急に検討していく必要があると、感じる。

子育て中の、私にとっては、出席することは、当たり前ではあるが、子どもの体調が、悪い時など、オンライン委員会や定例会が実施できたら、より良いと、感じた。

いろいろと、課題はあるが、事務局の効率化 up、データをやり取りできる環境で、迅速性、ペーパーレス化により、社会的に環境問題が改善される。

今回の視察では、ICT化の取組でデジタルをスムーズに活用している印象をうけた。

-作成者 岡部 かおり -